

## 同窓生シリーズ 第92回

### 38回生 福山 知子 Tomoko Fukuyama



略歴／	新宿高校 入学
1983年	早稲田大学 理工学部 入学
1986年	カルビー株式会社 入社
1990年	神戸大学大学院経営学研究所博士課程前期(経営学修士)入学
1998年	長女出産
2003年	次女出産
2006年	中日本事業本部マーケティング担当部長
2009年	執行役員 中日本事業本部 本部長
2013年	執行役員 経営企画本部 本部長 兼
2017年	コーポレートコミュニケーション本部 本部長 (現職)

## 理系一筋からマーケティング部門へのびやかで勤勉な学生時代が礎

### 高校時代と部活

私が新宿高校に入学したのは1983年4月。期待と不安の入り混じる日でした。バスケット部へ誘われて入ることで素敵な先輩後輩、そして仲間たちと出会うことができました。ほぼ初心者の中にはバスケット部の練習はキツク、いつ逃げ出そうか、と思うくらいでした。補欠ながら少しでも力になりたいと思っていた矢先の、2年生になったとき、右ひざ靭帯損傷で退部することとなりました。

その後、縁あって軽音楽部へ。選んだのはボーカル。それもはじめはレベッカなどからヘビメタルへも手を出していき、歌をきちんと習ったこともないのに、今思えば赤面ものです。

### 成績トップ目指す日々と自由な放課後の顔

さて、大学へは推薦で早稲田大学理工学部応用化学科へ行きました。この推薦をとるきっかけとなったのが、バスケット部の

先輩からのアドバイスでした。ある日更衣室で成績の話になり、先輩から「知子、それだけ成績良いなら推薦狙いなよ。」の一言に目覚めました。そうか！成績を維持していけば受験しなくても大学に入れる！何と不純な動機なことか。

部活の仲間もおり、クラスにも友達が出てきて、学校行事、特に、文化祭や体育祭は仲間との作業や練習も楽しく自分らしくいられました。

一方、放課後にはバイクの中型の免許をとりSUZUKIの250cc中古を買いました。高校生のうちは乗り回しても友達の家に行くときくらいでしたが、また、一時期渋谷のディスコ(今はクラブ?)にも週1くらいで行っていた時期があり、18時ごろ行って20時には店を出るという中途半端なマジメさの中、かなりの好き放題をしていた自分を、今、親になって大反省中です。



後列右端がバスケット時代の福山氏。シャッターを押す瞬間に必ずイタズラがあった。

### 早稲田大学時代

入学前は「理系＝結論が明確」だと思っていましたが、大学に入ると「理系＝雲をつかむ世界」になり、正直苦しみました。そして更にやる気を削いだのが、当時、応用化学科4年生の研究室は「一婦一研」と言われ、ひとつの研究室に女性はひとりのみ。しかし、女性の人数はそれなりにいたので、希望研究室が重なること、じゃんけんかあみだくじで決まるという理不尽さ。ご想像の通り、私は希望研究室には入ることができませんでした。更に就職活動も、「研究室には女性には要らぬ。入りたいたら院卒でくこと。」と言われ、大学院へ行こうと思いましたが、父親の強い反対にあい断念。バブル絶頂期ですので百貨店や商社、銀行からは引く手あまたでしたが、リケジョで生き続けるには厳しい時代でした。

### カルビーへ、そして妻、母、管理職

そんな私を選んでくれたのは、『カルビー』でした。私がこの会社を選んだ理由は「ヒト」です。当面接でお会いした方がとても素晴らしい方で、この人の下で働いてみたい、というのが契機でした。入社してからの配属は、マーケティング。理系一筋で生きてきた人間からすると異次元の言葉が飛び交い

ます。「ニーズ」「シーズ」「インサイト」「流通」「POS」等々：入社して初めて買った本が、『コトラーのマーケティング・マネジメント』でした。そして、ここから私のマーケティング人生が始まりました。まったく知らなかった世界ですが、結構面白い。お客様の潜在ニーズを探る心理的などころから、アンケートの設計・分析もするので理系としてのスキルは大いに役立ちました。会社での私のミッションは「今までできていない調査部門を確立せよ」。最初こそ先輩がいましたが異動され、その後は他社の方を手本にひとりである程度やらせてもらえました。しかし、ハタと気がつきません。このまま自己流でよいのだろうか、と。そして社内留学制度を活用して、神戸大学大学院経営学研究所博士課程前期に1年半行きました。ここでも様々な仲間や先生、先輩方から厳しい洗礼を受け「成長するしかない！」と心に誓いました。

その後会社へ戻り、結婚・出産を経て、2013年に静岡兵庫までの本部長になります。いわばそのエリアの社長です。当たり前ですが利益に対する責任もあります。メンバーは9人の部長をはじめとする総勢890人ほどでした。髪を振り乱して仕事をせねばという思いはありましたが、当時子供は小1と小4。復帰してから課長・部長と継続してきた時短勤務を聞き届けてもらい、加えて会長からは「16時には退社せよ。」という指示もあり、ライフとワークをつなげていくことができました。そして、現在は、本社(東京)の経営企画本部とコーポレートコミュニケーション本部(広報WEB・お客様相談室・食育など)の本部長を兼務しています。本社は東京ですが、住まいは関西のまま、在宅と出張で仕事をしています。

### 未来は君の手に

人生の中でその人自身で、また環境に迫られての選択はいくつもあります。良いことはわりと記載しましたが、私にはたくさん後悔があります。ただ、選ぶのは、また選ばせられたとしても最後に決めるのは「自分」です。

高校時代の素晴らしい仲間との時間は未来への糧となります。今を楽しみ、今を努力し、今をしっかりと生きて欲しいと思います。そして、皆さんには素晴らしい未来を、人生を手に入れる権利があり、それを決めるのは「自分」です。

『Your Future Is In Your Hands.』  
苦しみ、落ち込み、怒り、悲しみ、様々な想いをしっかりと見つめてください。皆さんの将来を楽しみにしています。そしてもし機会があれば、ぜひ一度仕事を一緒にしてみましよう！